

(様式 1 - 3)

南相馬市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 6 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	4	事業名	水産業共同利用施設復興整備事業 (水産業共同利用施設)		事業番号	C-7-1
交付団体		南相馬市	事業実施主体 (直接/間接)		南相馬市 (直接)	
総交付対象事業費		1, 036, 287 (千円)	全体事業費		1, 046, 550 (千円)	
事業概要						
<p>真野川漁港は、東日本大震災により甚大な被害を受けるとともに、原子力災害の影響により操業ができない状況である。このような状況の中、今後、30隻、70名が操業を計画しており、早急な復旧が望まれているため、平成27年度までには、荷捌き施設（漁業研修室、無線室含む）、作業保管（漁具倉庫）等操業に必要な施設を整備し、一部操業再開を行い、将来の本格復旧を目指す。25年度は各施設の設計と附帯施設工事を施工し、26年度、27年度には施設工事費を要求する。</p> <p>【水産業共同利用施設の整備計画】</p> <ul style="list-style-type: none">・海水処理施設（26年度）・水産物荷さばき施設（26年度）・作業保管（漁具倉庫）施設（26年度）・水産物鮮度保持施設（26年度）・設計監理業務委託料等（26年度）・作業保管（作業場）施設造成・建設工事（26年度）・オイルフェンス等保管施設（27年度） 27年度に要求予定（機能回復・漁港環境向上）・設計監理業務委託料等（26年度） 一部27年度に要求予定 <p><南相馬市復興計画 33頁></p> <p>○農林水産業への支援（農地の再整備、漁業関連施設の整備、生産法人化による産業の再建、経営の複合化、除塩）</p> <ul style="list-style-type: none">・地震や津波により被害を受けた漁業関連施設の整備費や共同利用する漁船や漁具の導入費など漁業者の経営支援に取り組みます。 <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>						
当面の事業概要						
<p><平成25年度> 設計（海水処理施設、荷捌き施設、漁具倉庫、鮮度保持施設、作業場）</p> <p><平成26年度> 工事（海水処理施設、水産物荷さばき施設、作業保管（漁具倉庫）施設、水産物鮮度保持施設）</p> <p><平成27年度> 設計（オイルフェンス等保管施設）</p> <p>工事（作業保管（作業場）施設、オイルフェンス等保管施設）</p>						
東日本大震災の被害との関係						
<p>被害額は、真野川漁港では係留施設、輸送施設、航路・泊地などの20施設で約40億円の損害額、漁港海岸では6施設で約54億円の損害額が出ている。組合員は16名減少、漁船は39隻減少した。通年で30隻70名が操業を計画しており、南相馬市の漁業生産活動を活発にし、もって水産物の安定供給を早期に実現する。</p>						
関連する災害復旧事業の概要						
<p>26年度 漁港施設（沖防波堤、南防波堤、導流堤外）、海岸堤防（南右田地区、烏崎地区）外</p> <p>27年度 海岸堤防（南右田地区、烏崎地区）外</p>						
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。						
関連する基幹事業						
事業番号						
事業名						
交付団体						
基幹事業との関連性						